

佐久市特別職報酬等審議会（第3回）議事録

開催日	平成29年5月31日(水)	開催場所	市役所大会議室	時間	95分
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員（木内咲子、工藤昭彦、新地章倫、田中俊之、土屋均、松本美恵子、三浦正久、盛岡正博）</li> <li>・事務局（矢野総務部長、荻原総務課長、渡辺人事係長、安井企画員、高梨主任、木次主事）</li> <li>・議会事務局の説明員（篠原事務局長、橋本事務局次長、井出総務係長）</li> </ul>		委員 出欠	出席8人 欠席2人	
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・第2回佐久市特別職報酬等審議会が出された質問に対する回答</li> <li>・佐久市特別職報酬等審議会 審議状況及び委員意見要旨 まとめ</li> </ul>				
<p>(午後7時00分～)</p> <p>1 開会 … 総務部長</p> <p>2 会長あいさつ … 盛岡会長</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 諮問案件について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2回佐久市特別職報酬等審議会が出された質問に対する回答」を議会事務局から説明</li> <li>・「佐久市特別職報酬等審議会 審議状況及び委員意見要旨 まとめ」を総務課から説明</li> </ul> <p>[委員]</p> <p>自分は個別に議論するのではなく、まとめて議論した方が良いと思う。自分の意見として答申案を作成してきたので、配布して良いか。</p> <p>－委員了承の上、配布－</p> <p>自分の意見を書いているので、読んでいただきたい。</p> <p>[委員]</p> <p>資料「審議状況及び委員意見要旨 まとめ」について質問したい。客観的な数値からの視点ということで、人口類似3市比較のところ。これは議員報酬のことか、又は政務活動費のことか。議員報酬だとすると、飯田市&gt;佐久市&gt;安曇野市とするのは違うのではないか。政務活動費であればわかる。その点を確認したい。</p> <p>[事務局]</p> <p>資料4の1ページより抜粋しているもの。支給総額で比較している。</p> <p>[委員]</p> <p>議員報酬は、飯田市が40万7千円、安曇野市は36万円、佐久市は34万9千円なので、佐久市と安曇野市が逆ではないのか。</p> <p>[事務局]</p>					

資料4の1ページ、3市を比較した資料から抜粋している。支給総額をベースに考えている。

[委員]

一人あたりの議員報酬ではなく、支給総額ということか。

[事務局]

そのとおり。

[委員]

もう1点質問だが、長野県内の比較はあるが、全国での比較について掲載されていないが、それを除いた理由は。

[事務局]

特に意図的なものではない。紙面の都合上、すべての数値を載せることができなかつたため、抜粋して掲載している。全国の類似団体の資料は、資料2の5ページから7ページに掲載している。

[委員]

客観的な数値なので、この資料にも載せた方が良かったので質問した。

[委員]

議員報酬と政務活動費、委員長報酬について現在はそれぞれに議論しているが、それも大事だと思う。しかし、だんだん議論が進んできたら、それを3つ含めて、どうなのかといった議論を進めていった方が良く思う。

[委員]

客観的な数値からの視点、議員に望む姿からの視点、両方を加味して結論を出せば良いと思う。

[委員]

私自身、金額が高いのか、低いのか、据え置きなのか、何を基準に判断して良いのか分からない。今までの資料を見て、現に議員の定数が少なく活動している市もあるし、報酬を減額している市もある。こういうことも考えながら、もう少し、議論をして、考えていきたい。私は、基準がわからないため、資料を読んで客観的に見るのが大事だと考えている。

[委員]

議員報酬などを検討するにあたって、類似団体と比較し、平均的なところ、真ん中に行くと市民は納得しやすい。平均的なところを追い求めるのはしょうがないと思う。ただし、政務活動費は個人的には釈然としない。使い切ることが前提になっていないか。そうすると変な使い方が往々にして出てくる。期末になると、残さないために無理をして使うなど。そのため、政務活動費は、もともと議員報酬に含まれるべきものだと考える。また、委員長報酬については不要だと考える。議員活動の一つとして議員報酬に含まれているものだと考える。

[委員]

他市と比べることも大事だが、私は、佐久市として考えてほしいと思う。他市と比べて低いから上げるとなると、それぞれの市でどんどん上がってってしまう。また、政務活動費は、廃止して議員報酬に入れてしまったら、使途が明確にならなくなる。政務活動費は、学ぼうとする議員にとって月 1 万円は少ないと思う。ただし、総額（議員報酬の年額 577 万円、政務活動費の年額 12 万円の合計額）は据え置きとするため、政務活動費を上げた分は、議員報酬から引くといった形にすれば良い。

[委員]

色々な意見があると思うが、私としては、全国で市議会という形で活動している以上、他市との比較は無視できないと思う。議員報酬については、客観的データに基づいて見たとき、全国の 10 万都市と比較し、佐久市は極端に低い。全国平均は 41 万円ぐらいだと思う。特に長野県は際立って低い。なぜ長野県の議員報酬が他県に比べて低いのか、理由についてはわからない。また、事務局から提出のあった資料では、県内の議員報酬等のトータル金額を比較していたので、疑問を感じた。まずは報酬額で比較をすべき。トータルはトータルとしての考え方があると思う。佐久市の場合は、議員定数が 34 人から 26 人になり、その間、報酬額は変わっていないことを考えると、どの時点のトータルで比較するかという問題がある。政務活動費については、議員報酬に入れた方が良いという意見もあるが、確かに全国では一部、その流れもある。以前は年間 4 万円だったが、8 年前に年間 12 万円になった。いずれにしても、他市より低く、会派でしか使えない。個人の政務活動は、議員報酬の中から支払っているものもある。また、使い切るという話もあったが、本当に活動していると、実際に 12 万円では足りないが、その中で収めているのが現状。佐久市は実情としても客観的にも金額は低いと思う。他市では、使途の問題もあったが、50～60 万円もらっていて使い切れないということがあったようだが、佐久市は 12 万円であり、収まり切らないのが現状。また、チェック機能の方が大切ではないかと思う。佐久市の場合、政務活動費の使い方について、議長がチェックするが、最終的に支払いする際、市長がチェックすることとなっているので、市長が責任を負っている。議員はどんどん勉強をし、議員資質を高め、本当の意味で行政と両輪になるような議員を育てることが、市政を良くすることだと思う。そうすると今の 12 万円は低いという印象である。委員長報酬については、責任をもってやっていただくために報酬額に少し色を付けても良いと思う。僅かな金額でも、それが委員長のプレッシャーになるのではないか。それで、結果的に市民益にもつながると思う。

[事務局]

事務局が提出した資料はあくまで抜粋であり、今までの経過をまとめたもの。客観的な数値からの視点の欄に、こういう数値を入れてほしいということであれば、修正して次回に出させてもらう。

[委員]

事務局はトータルで資料を出してきたが、個人の報酬額の資料があれば良かったのか。

[委員]

トータルではなく、個人のものであれば良かった。

[会長]

ただ、他の委員の意見の中では、10万都市の中での支給総額という考え方もあった。一方で、個人という考えもあるので、2つの考え方がある。

[委員]

佐久市の議員の数を更に減らせば…

[会長]

合併時、議員は34人だったが26人に減らしているという意見もある…

[委員]

トータルで見たときに、12年前は34人、そこから28人、今回26人に減らしている。その分、議員報酬が増えているわけではない。なので、8人減らしているのだから、比較すると、34人の時のデータもありうると思ったので、疑問を投げかけた。

[委員]

議員定数を28人から26人に減らした理由は何なのか。お金の問題か。

[委員]

私にはわからない部分もあるが、10万人都市の他市の状況を見てということだと思う。他の10万人都市を見ると23人や22人のところもある。佐久市はどちらかというともまだ多いのが実状。それは今後の検討項目ではないかと思う。34人から28人にしたときは、合併時、10万人都市の議員定数は最大34人だった。ただし、それはあくまで最大なので、その後、やはり減らしていこうということで28人になった。

[委員]

私は、議員の数が多の方が色々な意見を取り入れられるので良いと思っているので質問させてもらった。もう一つ、質問だが、議長、委員長は会派に属さない無所属の議員でもなれるのか。

[委員]

なれる。最終的には議員の多数決のような形になる。特に委員長は、会派の数が多いうところに多く割り振られるということになるが、別に会派に属さなくても委員長になることは可能。

[委員]

私は、委員長報酬の新設には反対。わずかな報酬でも付けるとモチベーションの向上になると意見があったが、私は信じられない。あくまで、議員報酬の中で、議員としての活動として考えたい。その中で頑張ってもらいたい。客観的に責任が重くなったということであれば考慮に値すると思うが、忙しいからというのは理由にならない。

[委員]

客観的なデータとして、半分くらいの市は委員長報酬を出していると思う。私は、もっと委員会で議論をしてもらいたいと思っている。活発な議論をすることによって、議員、職員が勉強し、市政全体がレベルアップしていくと思っている。

[委員]

委員長報酬を付けるとなると、特別委員長はいいのか、副委員長はいいのかという話になる。なので、議員報酬が高いのか、低いのかという議論をした方が本筋である。いくら20年上げていないからといって、3つすべてを上げるというのは、市民感情的にどうかと思う。

[会長]

先程の話の中で、一つは、他市と同じように議員定数を減らし、議員報酬を上げて活動してもらった方が良いという意見がある一方、議員報酬を下げてでも、議員定数を増やした方が良いという意見がある。この辺は、皆さんの中に、それぞれ、議員に期待する姿があると思う。それと、政務活動費についても意見が分かれている。議員報酬に含めれば良いという意見と、政務活動費を増やして、チェックをしっかりと行うという意見もある。委員長報酬については、責任を負わせるために支給した方が良いという意見と、支給をするにそれに伴い、他にも色々付けるようになるという意見がある。いずれにしても、全体を見ながら判断していくことが必要だと思う。また、その市が、人口だけではなく、活気があるまちか、どうなのかということも影響する。税収はどうかとか、発展性があるかなど。市の代表者の報酬を決めるのは色々な切り口があると思う。かといって、どのように判断するか、何を物差しとして判断するのかということに戻ってしまうというのが皆さんの気持ちではないか。議員報酬の問題については、全国レベルで考えると、長野県は低いという意見があったが、職員給与、民間給与も低い。都市部に比べると、その辺の違いはある。それについてどう考えるかだと思う。

[委員]

議員報酬は関西方面の方が高い。

[委員]

議員定数については今回の議論の対象ではないと思うが、誰が決めるものなのか。

[委員]

議会で決める。34人から28人に減らしたときにも色々な議論があった。減らすことに同意はしていたが、人数については意見が分かれた。議員からすれば身を切る決断だった。

[会長]

政務活動費について何か意見はあるか。

[委員]

政務活動費については少ない気がしていた。ただ、相対的に考えたい。できれば、据え置きでいいと考える。その中で、できる範囲のことをやっていただきたい。

[委員]

私が配布した資料の中に議会録のコピーを入れた。387 ページの議案質疑のところ。他の委員から議会では議論が尽くせないという意見があったが、「質疑は会議規則に基づき、同一議題について3回を超えることができない」とあるが。

[委員]

それは本会議のこと。委員会は夜通しで行っても良い。

[会長]

こういう形で、市議会のことを把握するのは大切なことだと思う。議員報酬、政務活動費はどちらも議員の活動を支えるものである。議員報酬に何を期待するのか、政務活動費に何を期待するのか。その視点の置き方によって違ってくる。

[委員]

政務活動費について、私が配布した資料の7ページに記載しているが、引き上げは妥当であると思う。ただ、今、報告は一年間を対象としているが、半年ごとに報告を求め、支給したら良いと思う。6月と12月など。これは条例を変えればできる。将来的には、議員が減ったら、議員報酬を上げて、政務活動費を廃止すれば良いのではないかと考える。

[委員]

以前は領収書がないとお金がもらえなかったが、今は違うのか。

[議会事務局]

政務活動費については年額で会派に一括して支給している。通常は5月に支給している。最終的に領収書、収支報告書を提出してもらい、そこで対象になるかどうかきちんと精査している。これはホームページで公開しているし、詳しい資料は議会事務局で閲覧できる。

[委員]

基本的に領収書がなければ精算して返してもらうことになる。したがって、チェック機能が大事。以前はホームページにて公開していなかったが、今はホームページで見られるということなので、かなりオープンになっている。

[会長]

マスコミ等で取り上げられる他市町村のようなルーズな運営の仕方はしていないということ。ただし、チェック機能については最終的に市長が行うというのには、改善の余地があるのではないかといった意見があった。

[議会事務局]

市からの補助なので、市長が額を確定する。額を確定するということは、当然チェックするということである。また、資料にもあるとおり、実際は政務活動費の支給額以上の活動をしている。使い切れなくて困ると言ったことは一切ない。逆に上げてもらいたいというのが実情だと思う。

[委員]

今の話を聞いて、チェック機能がきっちりしていると理解した。私は、月1万円程度の金額で、それに伴う事務経費のことを考えると、議員報酬に含めれば良いという意見だっ

た。しかし、チェック機能がしっかりしているということになれば、上げれば良いと考える。金額はわからないが。

[委員]

ホームページでは何を公表しているのか。

[議会事務局]

ホームページで公表されているのは、収支報告書、会派名、人数、議員名、支出の内訳等が項目ごとに金額が出ている。

[委員]

12万円以上の支出も全て出ているということで良いか。

[議会事務局]

そのとおり。ただし、ホームページには領収書は出ていない。領収書は閲覧にて公開している。

[委員]

政務活動費の報告に関して、現在も恐らく支出したものは全部載せているということが続いていると思う。そうでないと、議員がどのようなことをしているかわからない。政務活動費を使うことによって、会派としてどのような活動をしているか周知する一助になれば良いと思っていた。会派によって異なるかもしれないが。

[会長]

委員長報酬についてはどうか。

[委員]

私は委員長報酬はいらないと思う。色々ところで長をやっている方も、そのために特別に報酬をもらうことはないと思うので、現在の議員報酬の中でやってもらえれば良いと思う。また、政務活動費の議論に戻ってしまうが、使える金額、使えない金額があると思う。議員報酬の中から自腹を切ってお金を出さなければいけないことがあるのであれば、政務活動費は据え置いて、議員報酬を上げてほしいと考える。

[委員]

私は、議員報酬で十分だと思うので、委員長報酬までは不要だと考える。議員報酬の範囲で責任をもってやってもらえば良いと思う。

[会長]

役職という部分と、議員活動の一環として見る部分というものを同等に考えるのか、別に考えるのかによっても違って来る。どこまで報酬をつけるべきかという問題はある。忙しい委員会と、そうでない委員会もある。議員報酬、政務活動費、委員長報酬について何回も意見をいただいていたが、これからどう進めていけば良いか。一旦整理するために、事務局に何か調べて欲しいことがあれば出してほしい。それぞれが判断する物差しがあると思うが、納得できるところで答申していきたい。何かすっきりしない、引っかかっているものがあれば出してほしい。

[委員]

基準は無理だと思う。難しい気がする。現在までに色々と資料が出されている。十分に納得するかは別として、この辺かなという資料は揃っている。

[会長]

ただ、議員報酬、政務活動費を上げるか、据え置くか、下げるかの議論の後、次に金額の議論がある。委員長報酬は付ける、付けないという意見がある。また、金額の議論もある。進め方として、今後、どのように進めたら良いか。

[委員]

まず、上げるべきかどうかの議論を確定すべき。また、委員長報酬をつけるかどうか。金額については次のステップである。それぞれで上げるべきか、下げるべきか、付けるべきか、付けないべきか議論する。なお、議論の際は、全体を頭に入れながら、判断していく。

[委員]

一つずつやっていったらいいと思う。

[会長]

今日はどこまで議論をしたら良いか。

[委員]

今日、結論を出すのは難しいと思う。

[委員]

話しが広がりすぎている印象がある。絞り込んで議論した方が良いと思う。私、政務活動費がとても引っ掛かっており、会派によると思うが、どんなものに使われているのか内容が見えていない。ちゃんと活動するなら、月1万は少ない。でも、年間50万円、100万円としたら市民目線では理解されない。活動は議員によってもものすごく差がある。個人的には議員定数をもっと絞りこんでも良いと感じる。

[委員]

今回の選挙を見ても、佐久市は投票率が低い。誰がなっても一緒という感覚に市民がなってしまうことが原因だと思う。私は、報酬ではなくて、市民目線で市民のためという議員を求めている。進め方についてだが、私は、意見として言うべきことは言ったと思っている。なので、議員報酬から詰めた方が良い。妥当な金額はここで出すものなのか。

[会長]

答申では、それが求められていると考える。

[委員]

進め方についてだが、まず議員報酬を上げるべきか、下げるべきか、据え置きか。その後、金額がいくらか。次に政務活動費、次に委員長報酬についてと、一つ一つ意見集約をしていった方が良い。もうその時期にきていると思うので、次回、その議論をした方が良



い。その前提として、次回は全員参加して欲しい。委員全員が参加する中でしっかり議論をして、必要に応じて決をとるような形で議論を進めていけば良いと思う。

[委員]

私は、審議会は3回だと聞いていたので答申案ということで、数字を出してきた。審議会は数字を出さなければならないと思う。

[委員]

一つ、一つ、決めていけば良いと思う。

[会長]

次回までに、議員報酬、政務活動費、委員長報酬の3つの相互関係を考えながら、自分の考え方をまとめていただきたい。提案、考えをまとめていただいて、次回の審議会でお互いの案の長所なり欠点なりを忌憚なく話し合っ、まとめれば良いが、決を採るときは決をとるということで良いか。

—委員了承—

(2) その他

[事務局]

今回の審議会は6月29日(木)午後7時～市役所8階大会議室の開催を提案させていただくがいかがか。

—委員了承—

[会長]

本日の欠席者には、事務局から今日の経過も含めて連絡しておいてほしい。

[議会事務局]

一点、説明を追加したい。政務活動費の用途は条例で決まっており、少なくとも飲食に使用することは認められていない。委員長報酬については、資料を見てもらえばわかるが、全国では3割近く出されている状況。県下では東御市のみ出されている状況。

4 閉会 … 総務部長

(～午後8時35分)